

# 令和の日本型「自分たちの“まち”の私たちの小学校」づくり － 地域と連携・協働した教育課程の実現に向けて－

発表者

深澤 秀興  
望月 昭三

昭和町立押原小学校校長  
押原小学校学校運営協議会委員  
押越区 区長



学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
山梨県昭和町	367名	平成26年度	15名	4回	1名

## 学校教育目標

ともに学び合い、心豊かにたくましく生きる子どもの育成

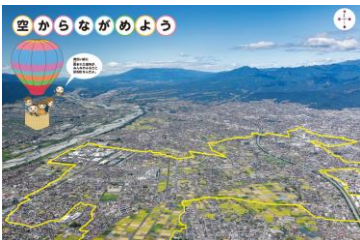
### 学校・地域の特徴

- 甲府盆地のほぼ中央に位置している。
- 大規模開発と急速な都市化により、住民が多数転入。児童数は右肩上がり増加。
- 高齢化の進行

↓

- 「地域」のつながりの希薄化

\* 町政の柱：  
持続可能な成長



### 学校運営協議会の概要

#### 委員の構成

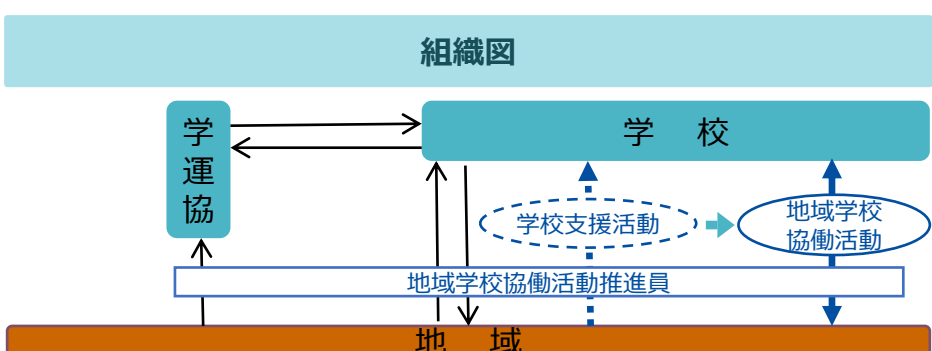
学区内にある全て区（自治会）の区長  
学識経験者  
社会教育委員、民生委員、PTA、いきがいクラブ、各代表  
昭和町文化協会会長  
教育委員会代表、CSD  
校長、教頭  
地域学校協働活動推進員

#### これまでの主な議題例

- 「よりよい社会を創る、よりよい学校教育の創造」
- 持続可能な成長を支える、新しい時代を担う人づくり

- 生活科・総合的な学習の時間の教育課程をめぐって
- 「ふるさと郷土教育」の推進
- 長期休業中の児童の居場所づくり

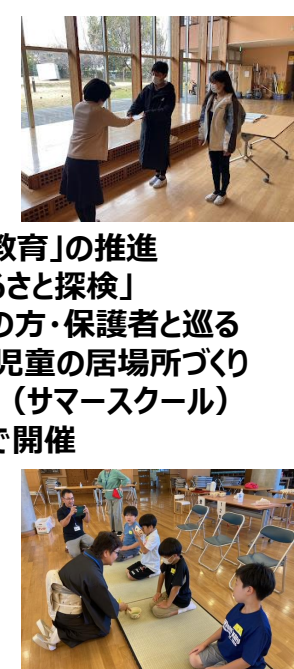
#### 組織図



The diagram shows a central '学校' (School) box. To its left is '学運協' (School Cooperation) and to its right is '地域学校協働活動' (Regional School Cooperation Activities). Below the school is '学校支援活動' (School Support Activities) and '地域学校協働活動推進員' (Regional School Cooperation Activities Promoter). At the bottom is '地域' (Local Community). Arrows indicate bidirectional communication between the school and the community, and between the school and the cooperation activities.

### 地域学校協働活動の特徴的な取組や工夫など

- 総合学習の教育課程再編
  - 昭和町宣伝大使→特産品の販売
  - ジュニア防災マスター→防災訓練参加
  - ジュニア健康マスター→町に提言
- 「ふるさと郷土教育」の推進
  - 「押原地区 ふるさと探検」  
27か所を地域の方・保護者と巡る
- 長期休業中の児童の居場所づくり
  - 押杜っ子CLUB（サマースクール）  
8内容9講座で開催



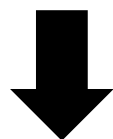




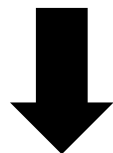
● 人口 18,959人 ➡ 21,090人  
● 高齢者数 3,223人 ➡ 4,093人



- 【課題】
- ・ 隣近所の関係性の希薄化
  - ・ 若い世代と高齢者との関係性の希薄化



「地域」のつながりの希薄化



## [Needs]

「子どもの活動を介して」、「子どもの協力を得て」、  
「地域の協力性や協調性」、「絆を幸福感と感じられる」  
そんな取り組みをしてほしい



## 1 学校運営協議会の構成メンバーの変更

学校が求める支援に関わる諸団体の代表



地域の「よりよい社会」への思いや願いを代弁するとともに、  
学校と連携・協働しながら「よりよい社会」を創造できる  
諸団体の代表 区長や文化協会会長etc



## 2 「総合的な学習の時間」の教育課程の再編

## 3 「ふるさと」郷土教育」の推進

## 4 長期休業中の児童の居場所作りとして「押杜っ子 CLUB」いわゆるサマースクールを開校



テーマ:「持続可能な成長を支える新しい時代を担う人づくり」

1 連続性と発展性のある第3学年から第6学年までの4年間を見通した教育課程の再編

3年生 わたしたちのふるさと昭和町

4年生 住みよい町をめざして

5年生 自然と調和した豊かな町をめざして

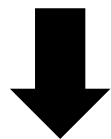
6年生 持続可能な町をめざして



2 探究的な学習過程の最後に、地域貢献・社会参画を目指した、学んだことを「生かす」という活動を位置付ける



●昭和町より「宣伝大使」に任命してもらう



意欲化・社会参画



【児童に地域・社会の諸課題と出会わせる場面】

- 出会わせたい諸課題に、正対している**人の活動**
- その諸課題の解決に取り組んでいる**人の生き方**

をとおして、諸課題と繋がるように仕組む



- 町の特産品であるナスやトウモロコシの生産に精を出す
- 商工会青年部長として、地域が抱える農家の減少といった課題にも真正面から取り組んでいる



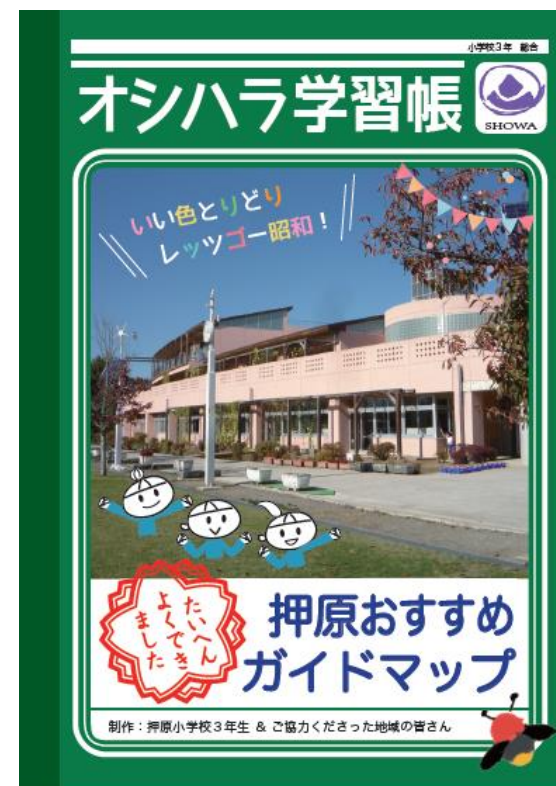
### 農家の長瀧さんの話

なすは、6月から10月にしゅうかくすることができます。昭和町では、昔からなすがつくられています。昭和町は、土地が平らで、水はけがいいので、おいしいなすを育てることができます。なすの苗は、ひつような道具や肥料とともに、地域の農協から買っています。なすの他に、とうもろこしなども育てています。

●児童は特産品のナスに愛着と誇りを感じる



●自分たちが住むまちのよさを紹介する  
ガイドマップにナスやナス畑を取り上げる



## ● 収穫体験



## ● 町のお祭りで販売





地域の人に畏敬の念を抱く



郷土を愛する目を育んでいる



町たんけん取材した  
素敵な場所をご紹介します！

**押越**  
昭和町の中心！たくさんの  
公共施設が集まる押越地区

OSHIKOSHI

**① 押原小学校**  
押原小学校には、たくさんの先生や友だちがいます。押社川には、ザリガニやめだかなどいろいろな生物があるので自然が感じられます。土日は空いているのでぜひ来てください。

**② 押原公園**  
押原公園には遊具がいっぱいあります。防災公園としての役割もあって安心して遊べます。押原公園は広くて、夏は噴水もあって水遊びができます。のびのび過ごせます。

**③ 源氏銀公園**  
押原地区の押原公園の近くにある、源氏銀発生の地でもある場所です。雪はこの場所でお祭りをするときもあつたそうです。隠れの日は、富士山と夕日がとても綺麗です。

2

地域は、  
コミュニティ・スクールや  
地域学校協働活動を  
どのように受け止め、  
どのようなことを期待しているか

押越区 区長 望月 昭三